

電子納品検査プログラム (ネット認証ライセンス版) インストール手順

電子納品検査プログラムのインストール手順を解説します。

新規インストールの手順	P.2
1. 電子納品検査プログラムのインストール	P.3
2. ネット認証ライセンスのプロダクトID認証	P.7
バージョンアップの手順	P.10
1. ネット認証ライセンスの更新	P.10
2. 電子納品検査プログラムのバージョンアップ	P.12
プログラムのアップデート手順	P.15
1. ネット認証ライセンスの更新	P.15
2. 電子納品検査プログラムのアップデート	P.17
【補足1】：ネット認証ライセンス（LAN）をお使いの場合は	P.19
ネット認証ライセンス（LAN）サーバーのインストール	P.19
ネット認証ライセンス（LAN）サーバーの更新	P.21
【補足2】：セットアップ画面のボタンを押しても無反応の場合は	P.23
Q&A	P.25

新規インストールの手順

電子納品検査プログラム（ネット認証ライセンス版）

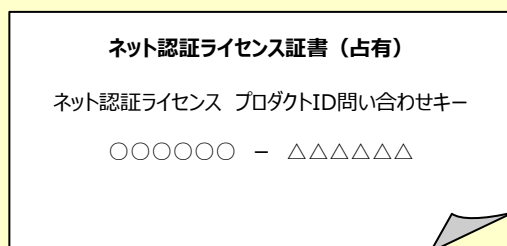
インストール前に確認してください

弊社プログラムを使用するには、「ネット認証ライセンス」の**プロダクトID**を認証する必要があります。

－ ネット認証ライセンス（占有）の場合 －

「プロダクトID問い合わせキー」を使用します。

「プロダクトID問い合わせキー」は 6桁+6桁 で、送付される「**ネット認証ライセンス証書（占有）**」に記載されています。



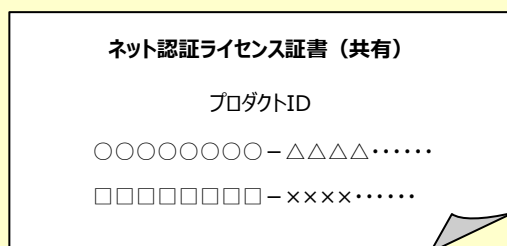
－ ネット認証ライセンス（共有）の場合 －

ソフトウェア管理者から提供された [プロダクトID] を使用します。

ソフトウェア管理者の方へ

ライセンスの認証で必要になる「プロダクトID」は、送付される「**ネット認証ライセンス証書（共有）**」に記載されています。

ソフトウェア管理者の方は、あらかじめどの利用者（コンピューター）が、どの「プロダクトID」を使用するか決めて配布してください。



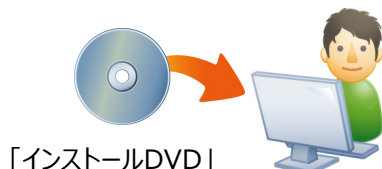
確認を終えたら、次ページからの手順にしたがって、電子納品検査プログラムをインストールしてください。

1. 電子納品検査プログラムのインストール

コンピューターに、初めて電子納品検査プログラムをインストールする手順です。
 (アンインストールした後に、再度インストールする場合も同様な手順になります。)

※ 「ネット認証ライセンス (LAN) を使用される場合は、電子納品検査プログラムをインストールする前に、「ネット認証ライセンス (LAN) サーバーのインストール」(P.19) を行ってください。

1. プログラムをインストールするコンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



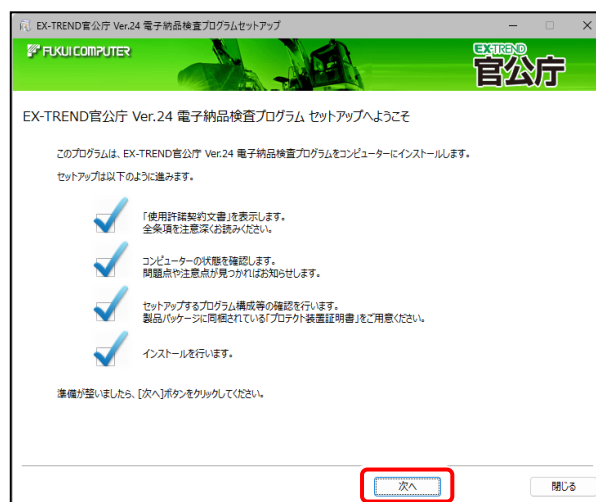
2. セットアップ画面で、「電子納品検査プログラム」ボタンを押します。



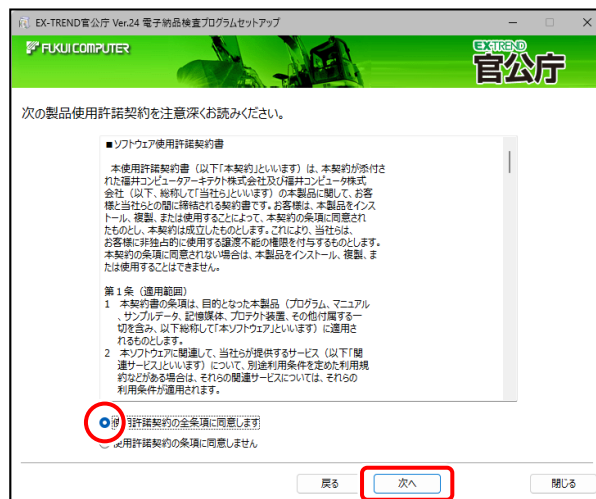
※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [INSTALL.EXE] を実行してください。

※ セットアップ画面のボタンを押しても無反応の場合は、P.23「補足：セットアップ画面のボタンを押しても無反応の場合は」を参照して下さい。

3. 表示される画面に従って、インストールを行います。



[使用許諾契約の全条項に同意します] を選択して、「次へ」ボタンを押します。



(次ページへ続く)

コンピューターの時計、インストール先のフォルダーを確認します。必要があれば変更してください。



[プロテクト装置を選択してください] をクリックします。



使用するプロテクトの種類を、一覧から選択します。



※ プロテクトの種類は、同梱の「お客様控 (構成表) 兼プロテクト装置保証書」に記載されています。

お客様控 (構成表) 兼プロテクト装置保証書
出荷プロテクト ○○○○

内容を確認して、[次へ] を押します。



※ コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

(次ページへ続く)

その他のオプションを設定し、[次へ] を押します。



[作業フォルダー]

電子納品検査プログラムが、作業用に使用するフォルダーです。運用上、作業用のフォルダーが指定されている場合は、変更してください。

[共通プログラム]

アンテナハウスPDFドライバーとは、PDFを作成する仮想プリンタドライバです。チェックボックスをオンにすると、同時にインストールされます。

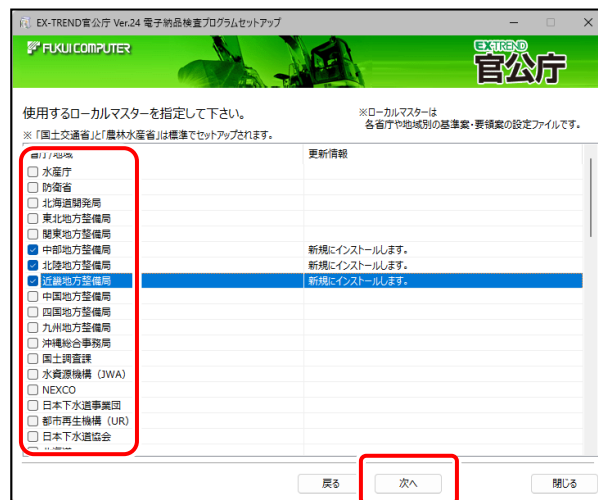
[電子納品検査プログラムのパス設定]

電子納品検査プログラムが使用するフォルダーです。運用上、各フォルダーが指定されている場合は、変更してください。

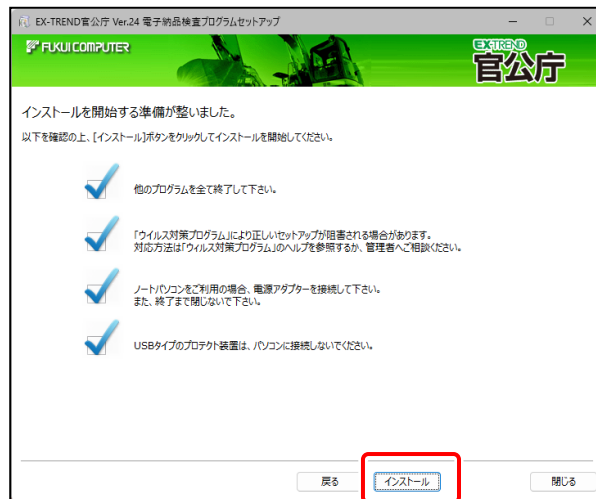
ローカルマスターとは、各省庁や都道府県別に対応した基準案・要領案などの設定ファイルです。

受発注や、納品される可能性のある、省庁や地域のチェックボックスをオンにします。

設定を終えたら、[次へ] を押します。



内容を確認して、[インストール] を押します。



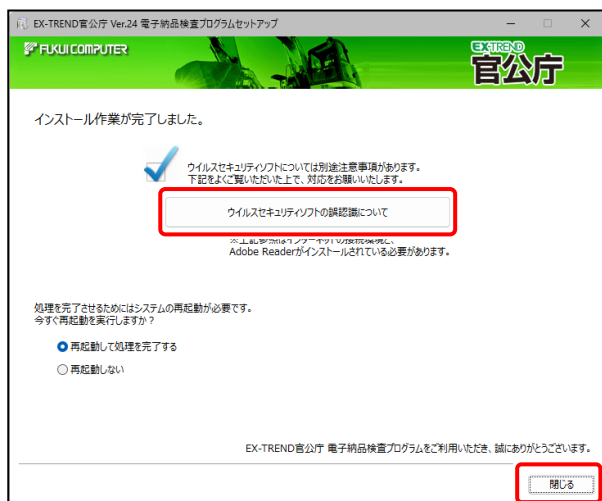
(次ページへ続く)



プログラムのインストールが、開始されます。

インストールを終えたら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認して、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、電子納品検査プログラムが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、
[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について] ボタンから表示される資料を参考にしてください。

セットアップされたプログラムのバージョンは、プログラムを起動後に、[ヘルプ] - [バージョン情報] コマンドで確認することができます。

2. ネット認証ライセンスの製品ID認証

プログラムの起動時に、ネット認証ライセンスの「製品IDの認証」が表示される場合があります。表示される画面にしたがって、製品IDの認証をおこなってください。

※ 製品IDの認証時には、インターネットに接続された環境が必要です。

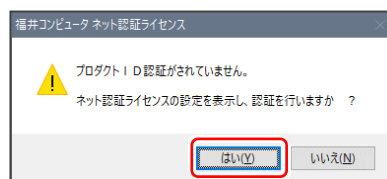
1. デスクトップの [電子納品検査プログラム] をダブルクリックして起動します。



2. 製品ID認証のメッセージが表示された場合は、

[はい] を押して製品IDの認証をおこないます。

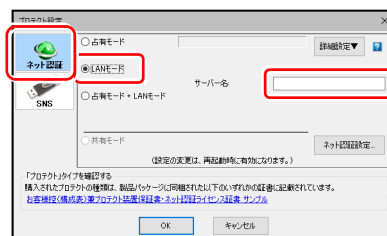
- ※ ネット認証ライセンス（占有）または（共有）を使用する場合は、[はい] を押します。
- ※ ネット認証ライセンス（LAN）を使用する場合は、[いいえ] を押します。



[プロテクト設定] 画面が表示された場合は、

使用するプロテクトを選択して [OK] を押します。

- ※ ネット認証ライセンス（LAN）を使用する場合は、[ネット認証] の [LANモード] を選択して、[サーバー名] に「FCネット認証LAN サーバー」をインストールしたサーバーのコンピューター名を入力してください。



ネット認証ライセンス（占有）の場合の、製品ID認証の手順

- ※ ネット認証ライセンス（占有）のお客様のみ、おこなってください。

[製品ID問い合わせキー] を入力して、

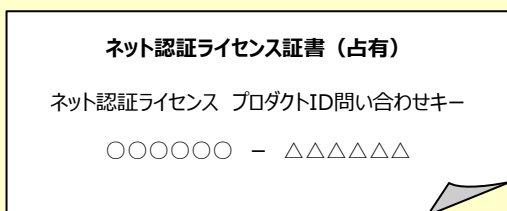
[製品ID取得] ボタンを押します。

[製品ID] が取得されたのを確認したら、

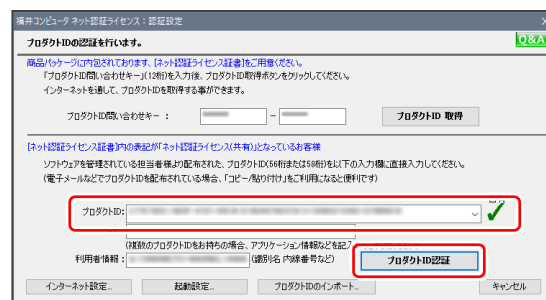
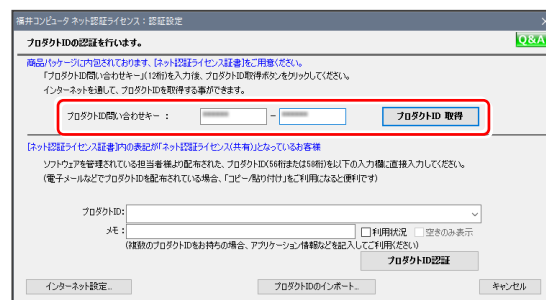
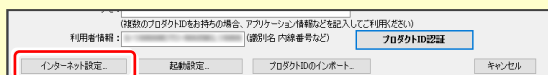
[製品ID認証] ボタンを押します。

[製品ID問い合わせキー] は 6桁+6桁 です。

送付される「ネット認証ライセンス証書（占有）」に記載されています。



- ※ 製品IDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定] ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



(次ページへ続く)

「ライセンスの認証と解除の設定」画面が表示されます。
 お客様のご利用環境に合わせて、「自動認証時の設定」と「自動解除時の設定」を設定してください。

自動解除は、以下の様な使用方法の時に設定します
 事務所内など、常時インターネット接続が可能な環境で使用しており、

- 複数人でライセンスを使用する場合。
 - 他のコンピューターでもライセンスを使用する場合。
 - 商品構成の異なるプロダクトIDを、都度切り替えて使用する場合。
- ※ 自動解除の設定は、お客様のご判断でご使用ください。



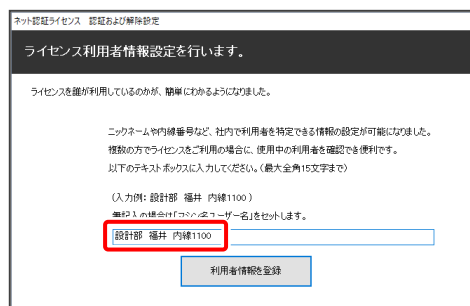
設定を終えたら、[OK] ボタンを押します。



利用者情報を入力して登録してください。

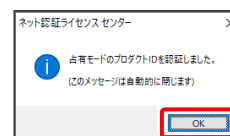
【利用者情報】は、プロダクトIDの利用状況（誰が使用しているか、どのコンピューターで使用されているか等）を確認する際に利用されます。

内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。



ネット認証ライセンス（占有）のプロダクトIDが認証されます。

続いて次ページ **3.** に進みます。



ネット認証ライセンス（共有）の場合、プロダクトID認証の手順

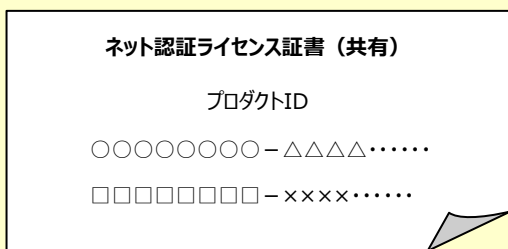
※ ネット認証ライセンス（共有）のお客様のみ、おこなってください。

[プロダクトID] にソフトウェア管理者から提供された
[プロダクトID] を入力し、[プロダクトID認証] ボタンを
押します。

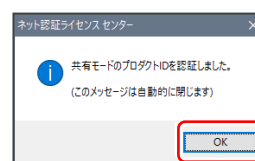
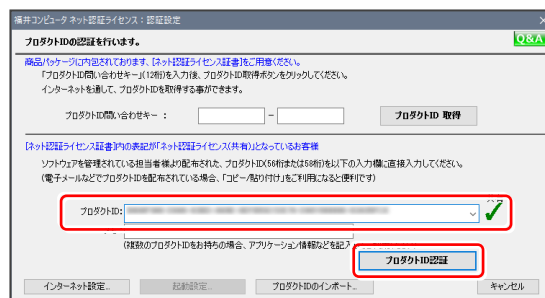
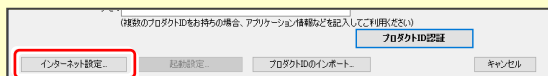
ソフトウェア管理者の方へ

ライセンスの認証で必要になる「プロダクトID」は、送付される
「ネット認証ライセンス証書（共有）」に記載されています。

ソフトウェア管理者の方は、あらかじめどの利用者（コンピューター）が、
どの「プロダクトID」を使用するか決めて配布してください。



※ プロダクトIDの認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]
ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



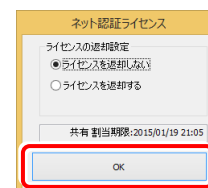
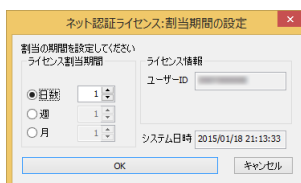
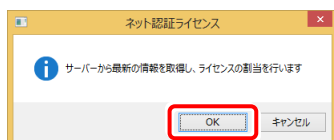
3. プログラムが起動されます。

－ ネット認証ライセンス（共有）の場合 －

ネット認証ライセンス（共有）では、プログラムの起動時にライセンスの割り当てをおこないます。

ライセンスを保持する期間を確認（または変更）して、[OK] ボタンを押します。

（管理者により割り当て期間が1日と決められている場合は、割り当て期間の設定は表示されません。）



またプログラムの終了時に、ライセンス返却のダイアログが表示されます。（右図）

返却する/返却しないを選択した後、[OK] ボタンを押してプログラムを終了します。

以上で新規インストールは完了です。

バージョンアップの手順

電子納品検査プログラム（ネット認証ライセンス版）

1. ネット認証ライセンスの更新

プログラムのバージョンアップ時や、プログラムの追加購入によるライセンス情報の変更時には、「ネット認証ライセンス」のライセンス情報の更新が必要です。

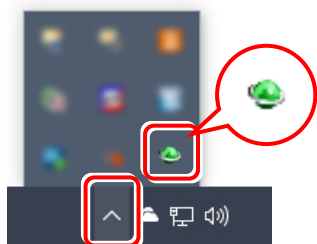
※ ライセンス情報を更新しないと、バージョンアップしたプログラムを使用することはできません。

※ ライセンス情報の更新時には、インターネットに接続された環境が必要です。

※ ネット認証ライセンス（LAN）を使用されている場合は、本ページの手順ではなく、[\(21ページ\)「ネット認証（LAN）サーバーの更新」](#)を参照して、サーバーのライセンス情報の更新をおこなってください。

ネット認証ライセンス（占有）の更新手順

1. 画面右下のタスクバーの通知領域に表示される「ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックして、ネット認証ライセンスの設定画面を開きます。

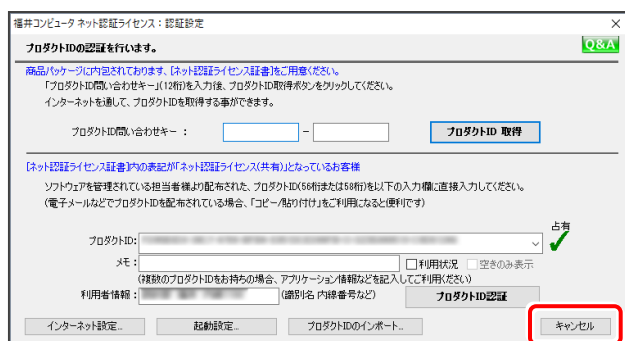


2. 「ネット認証ライセンス」の画面が表示されます。

「ネット認証ライセンス：認証設定」画面（下画面）が表示された場合は

プログラムの起動時に自動的にライセンス情報が更新されますので、更新の必要はありません。

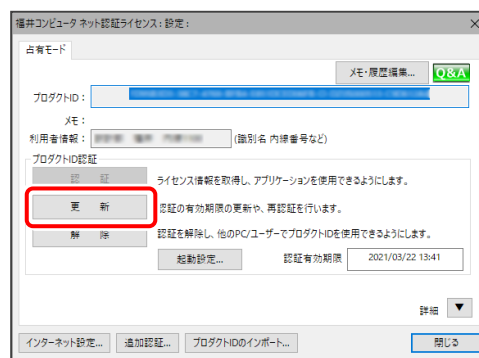
[キャンセル] ボタンを押して画面を閉じてください。



3. 「ネット認証ライセンス：設定」画面（下画面）が表示された場合は

手動でライセンス情報の更新が必要です。

[更新] ボタンを押して、ライセンス情報を更新してください。

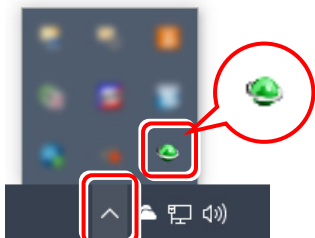


以上でライセンス情報の更新は完了です。

続けてプログラムのアップデート、またはバージョンアップをおこなってください。

ネット認証ライセンス（共有）の更新手順

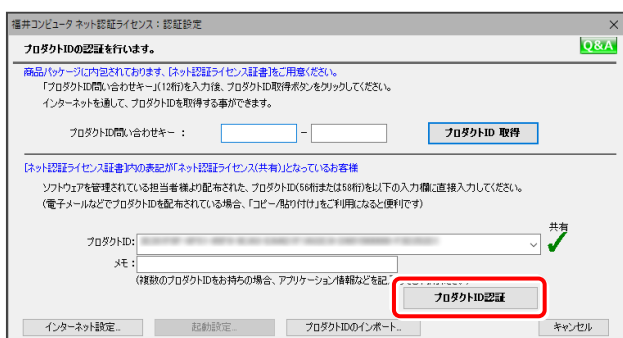
1. 画面右下のタスクバーの通知領域に表示される「ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックして、ネット認証ライセンスの設定画面を開きます。



2. 「ネット認証ライセンス」の画面が表示されます。

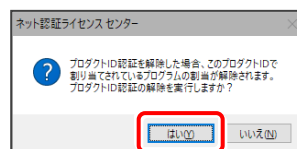
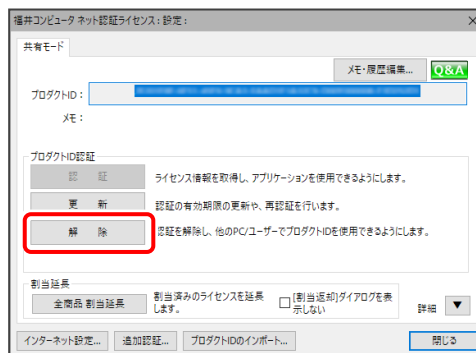
「ネット認証ライセンス：認証設定」画面（下画面）が表示された場合は

[プロダクトID認証] ボタンを押してください。

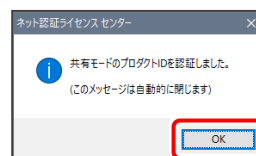
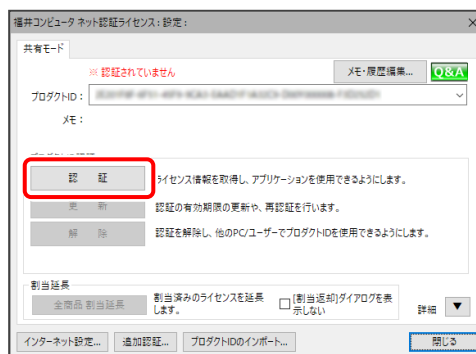


3. 「ネット認証ライセンス：設定」画面（下画面）が表示された場合は

[解除] ボタンを押して、プロダクトIDを解除します。



そのまま続けて、[認証] ボタンを押します。



以上でライセンス情報の更新は完了です。

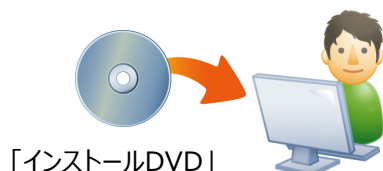
続けてプログラムのアップデート、またはバージョンアップをおこなってください。

2. 電子納品検査プログラムのバージョンアップ

旧バージョンの電子納品検査プログラムを、バージョンアップする手順です。

お客様の入力したデータが削除されたり、各種設定ファイルが更新されることはありません。

1. プログラムをインストールするコンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面で、「電子納品検査プログラム」ボタンを押します。



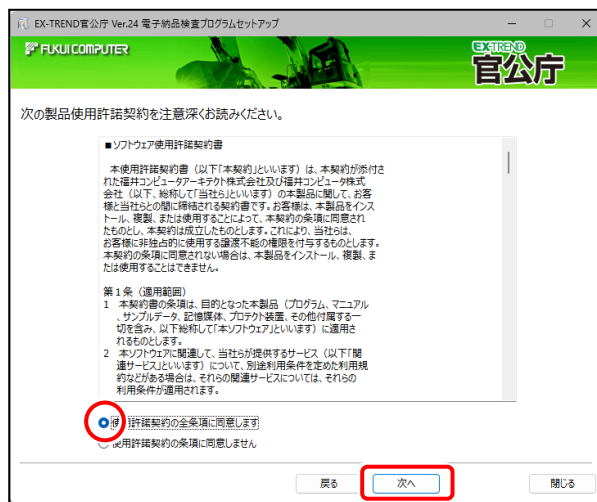
※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [INSTALL.EXE] を実行してください。

※ セットアップ画面のボタンを押しても無反応の場合は、P.23「補足：セットアップ画面のボタンを押しても無反応の場合は」を参照して下さい。

3. 表示される画面に従って、インストールを行います。



【使用許諾契約の全条項に同意します】を選択して、「次へ」ボタンを押します。



(次ページへ続く)

コンピューターの時計を確認します。
必要があれば変更してください。



【プロテクトの種類】に変更がある場合は、プロテクトの画像をクリックして表示される一覧から、変更後のプロテクトを選択してください。



※ プロテクトの種類は、同梱の「お客様控（構成表）兼プロテクト装置保証書」に記載されています。

お客様控（構成表）兼プロテクト装置保証書

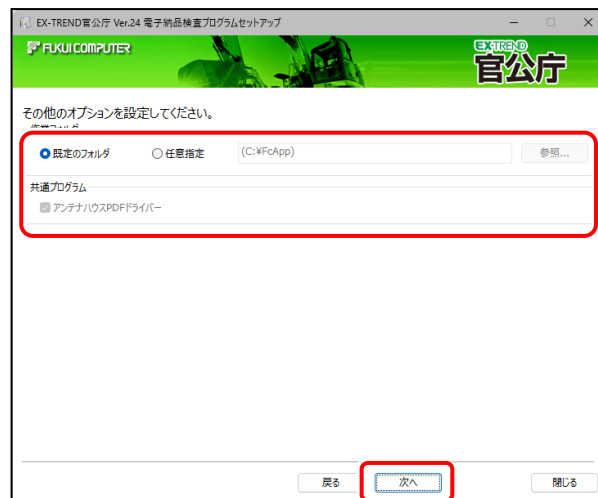
出荷プロテクト ○○○○

内容を確認して、[次へ] を押します。



※ コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

その他のオプションを設定し、[次へ] を押します。



【作業フォルダー】

電子納品検査プログラムが、作業用に使用するフォルダーです。運用上で、作業用のフォルダーが指定されている場合は、変更してください。

【共通プログラム】

アンテナハウスPDFドライバーとは、PDFを作成する仮想プリンタドライバです。チェックボックスをオンにすると、同時にインストールされます。

(次ページへ続く)

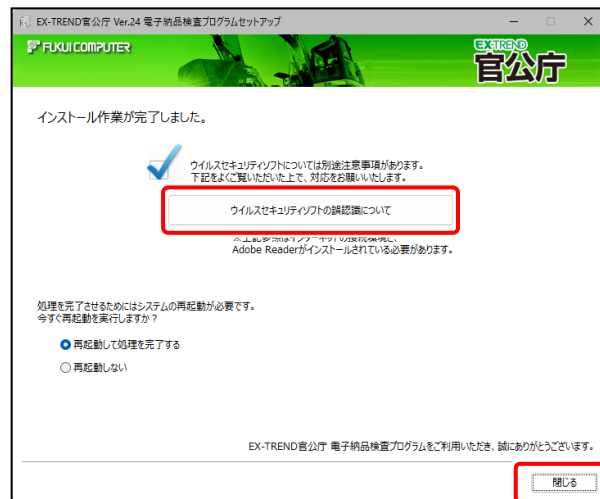
ローカルマスターとは、各省庁や都道府県別に対応した基準案・要領案などの設定ファイルです。
受発注や、納品される可能性のある、省庁や地域のチェックボックスをオンにします。
設定を終えたら、[次へ] を押します。



内容を確認して、[インストール] を押します。



プログラムのインストールが開始されます。
インストールを終えたら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認して、[閉じる]を押します。
再起動が必要な場合は、再起動します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、電子納品検査プログラムが正常に動作しない場合があります。
誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、
[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について] ボタンから表示される資料を参考にしてください。

セットアップされたプログラムのバージョンは、プログラムを起動後に、[ヘルプ] - [バージョン情報] コマンドで確認することができます。

プログラムのアップデート手順

電子納品検査プログラム（ネット認証ライセンス版）

1. ネット認証ライセンスの更新

プログラムのバージョンアップ時や、プログラムの追加購入によるライセンス情報の変更時には、「ネット認証ライセンス」のライセンス情報の更新が必要です。

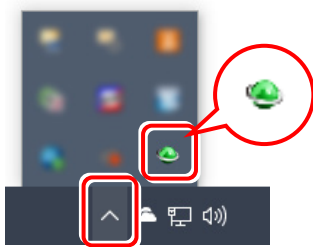
※ ライセンス情報を更新しないと、追加購入したプログラムを使用することはできません。

※ ライセンス情報の更新時には、インターネットに接続された環境が必要です。

※ ネット認証ライセンス（LAN）を使用されている場合は、本ページの手順ではなく、[\(21ページ\)「ネット認証（LAN）サーバーの更新」](#)を参照して、サーバーのライセンス情報の更新をおこなってください。

ネット認証ライセンス（占有）の更新手順

1. 画面右下のタスクバーの通知領域に表示される「ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックして、ネット認証ライセンスの設定画面を開きます。

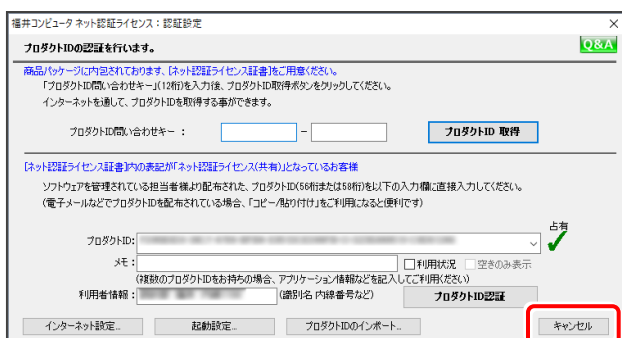


2. 「ネット認証ライセンス」の画面が表示されます。

「ネット認証ライセンス：認証設定」画面（下画面）が表示された場合は

プログラムの起動時に自動的にライセンス情報が更新されますので、更新の必要はありません。

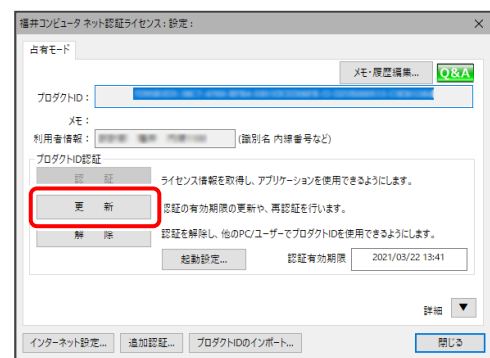
[キャンセル] ボタンを押して画面を閉じてください。



3. 「ネット認証ライセンス：設定」画面（下画面）が表示された場合は

手動でライセンス情報の更新が必要です。

[更新] ボタンを押して、ライセンス情報を更新してください。

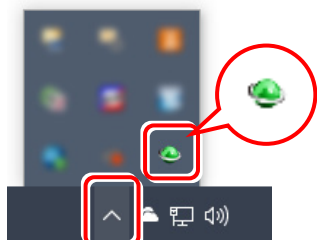


以上でライセンス情報の更新は完了です。

続けてプログラムのアップデート、またはバージョンアップをおこなってください。

ネット認証ライセンス（共有）の更新手順

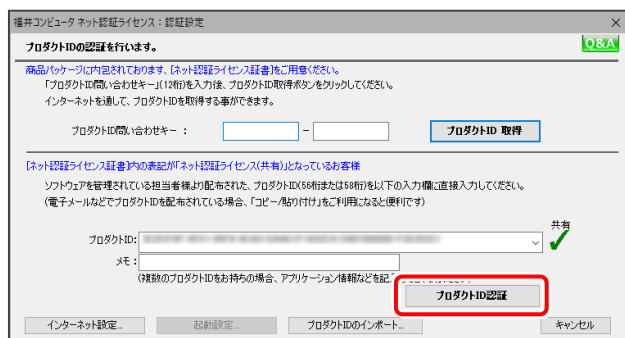
1. 画面右下のタスクバーの通知領域に表示される「ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックして、ネット認証ライセンスの設定画面を開きます。



2. 「ネット認証ライセンス」の画面が表示されます。

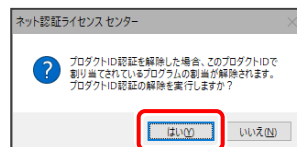
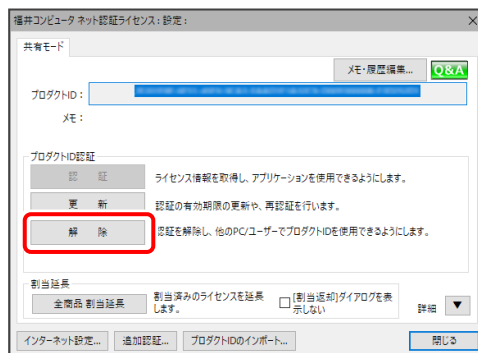
「ネット認証ライセンス：認証設定」画面（下画面）が表示された場合は

[プロダクトID認証] ボタンを押してください。

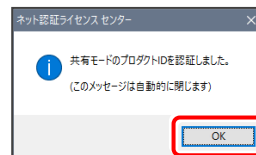
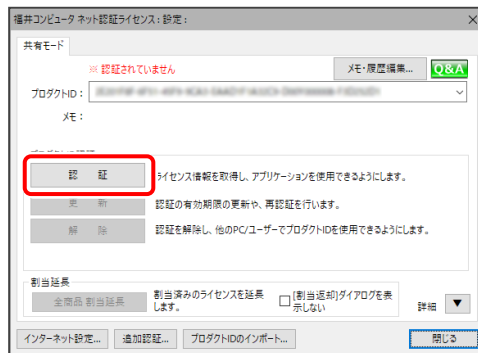


3. 「ネット認証ライセンス：設定」画面（下画面）が表示された場合は

[解除] ボタンを押して、プロダクトIDを解除します。



そのまま続けて、[認証] ボタンを押します。



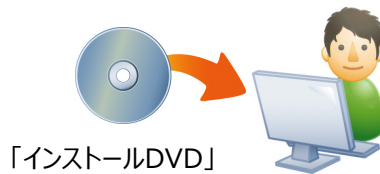
以上でライセンス情報の更新は完了です。

続けてプログラムのアップデート、またはバージョンアップをおこなってください。

2. 電子納品検査プログラムのアップデート

コンピューターに、同バージョンの電子納品検査プログラムがインストールされている場合のインストール方法です。
お客様の入力したデータが削除されたり、各種設定ファイルが更新されることはありません。

1. プログラムをインストールするコンピューターに、
「インストールDVD」をセットします。



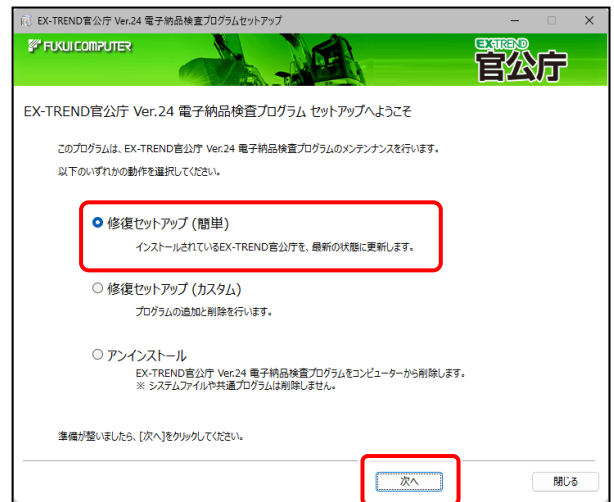
2. セットアップ画面で、
「電子納品検査プログラム」ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の
[INSTALL.EXE] を実行してください。

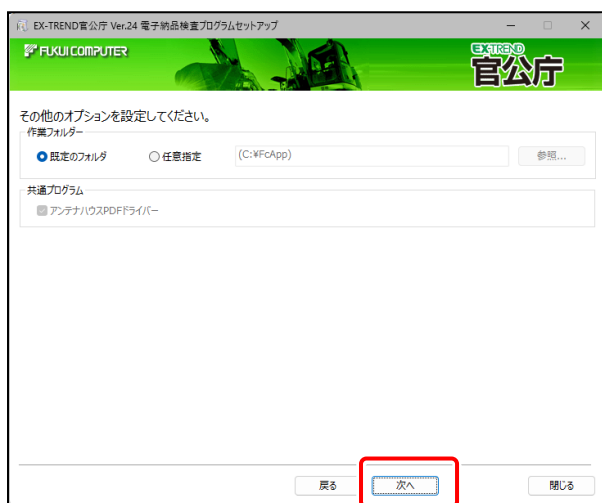
※ セットアップ画面のボタンを押しても無反応の場合は、
P.23「補足：セットアップ画面のボタンを押しても無反応の場合は」
を参照して下さい。

3. 「修復セットアップ（簡単）」を選択して、
「次へ」を押します。



(次ページへ続く)

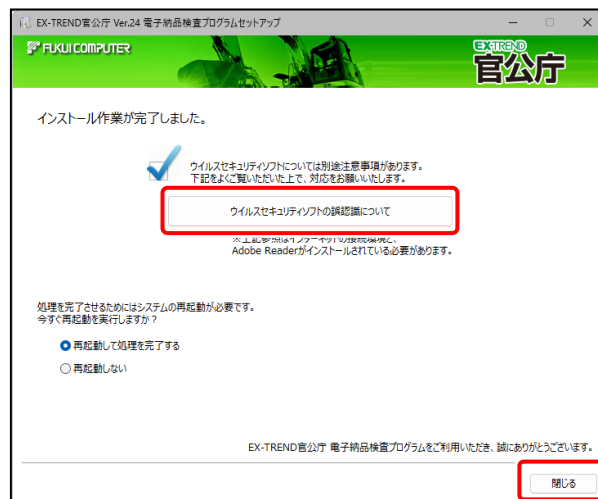
その他オプションに変更がある場合は、設定し直してください。設定を終えたら、[次へ]を押します。



内容を確認して、[インストール]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



インストールを終えたら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認して、[閉じる]を押します。
再起動が必要な場合は、再起動します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、電子納品検査プログラムが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、
[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について] ボタンから表示される資料を参考にしてください。

セットアップされたプログラムのバージョンは、プログラムを起動後に、[ヘルプ] - [バージョン情報] コマンドで確認することができます。

【補足1】： ネット認証ライセンス（LAN）をお使いの場合は

ネット認証ライセンス（LAN）サーバーのインストール

ネット認証ライセンス（LAN）を使用される方は、使用するサーバーに「ネット認証LANサーバー」をインストールした後、プロダクトIDの認証をおこないます。

※ プロダクトIDの認証時には、インターネットに接続された環境が必要です。

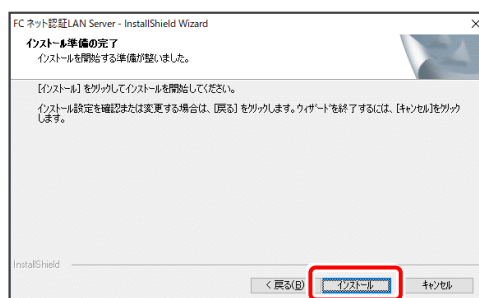
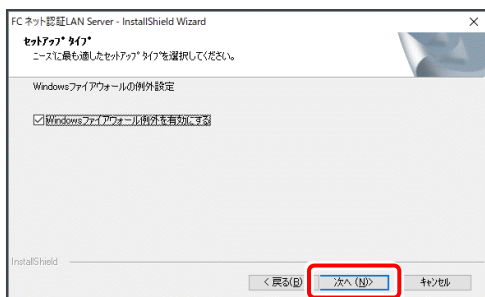
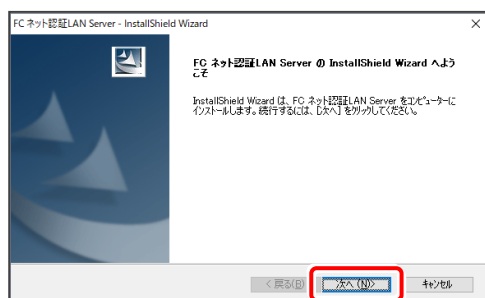
※ サーバーの再起動が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

Step1 | ネット認証LANサーバーのインストール

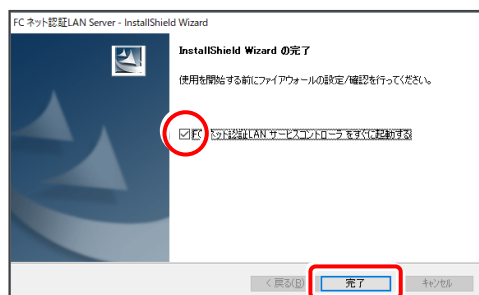
1. サーバーに「インストールDVD」をセットします。
2. セットアップ画面を [その他インストーラー] に切り替えて、[ネット認証ライセンスLANモードサーバー] を押します。



3. 表示される画面に従って、ネット認証LANサーバーをインストールします。



4. [FC ネット認証LAN サービスコントローラ をすぐに起動する] にチェックを付けて [完了] を押します。

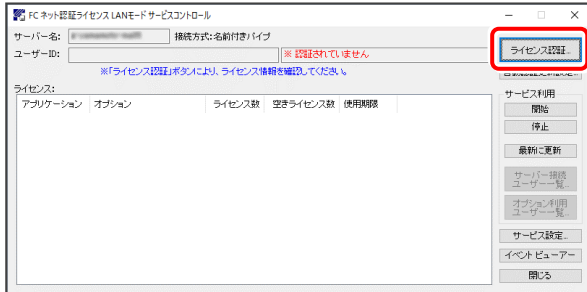


※ 再起動が必要な場合は、メッセージに従って再起動してから次の手順に進みます。

(次ページへ進みます)

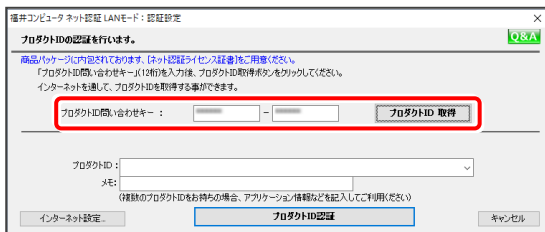
Step2 | プロダクトIDの認証 (サーバー)

1. [FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール] 画面で、[ライセンス認証] を押します。

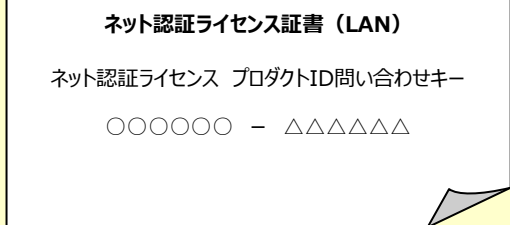


※ 上記画面が表示されていない場合は、
Windows11 : スタートメニューの「すべてのアプリ」
Windows10 : スタートメニュー
 から、[FC ネット認証LAN Server] - [FC ネット認証LAN
 サービスコントローラ] を起動してください。

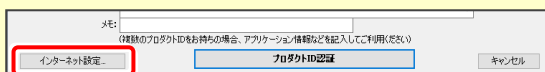
2. [認証設定] 画面が表示されますので、
 [プロダクトID問い合わせキー] を入力して、
 [プロダクトID取得] を押します。



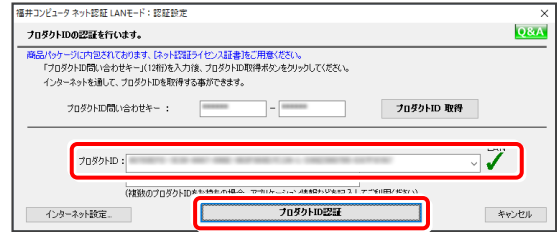
※ 「プロダクトID問い合わせキー」は 6桁+6桁 で、送付される
 「ネット認証ライセンス証書 (LAN)」に記載されています。



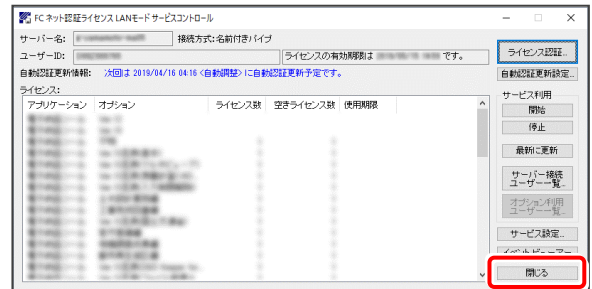
※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インター
 ネット設定] を押して、プロキシ設定を変更してみてください。



3. [プロダクトID] が取得されたのを確認し、
 [プロダクトID認証] を押します。



4. ライセンス情報が取得されたことを確認し、
 [閉じる] を押します。



以上でネット認証ライセンス (LAN) のインストール
 は完了です。

続けてクライアントで、各プログラムのセットアップを
 おこなってください。

ネット認証ライセンス（LAN）サーバーの更新

・バージョンアップ時
・ライセンス情報の変更時

プログラムのバージョンアップ時やプログラムの追加購入によるライセンス情報の変更時には、ネット認証LANサーバー（ライセンス管理プログラム）の更新と、ネット認証ライセンス（LAN）のライセンス情報の更新が必要です。

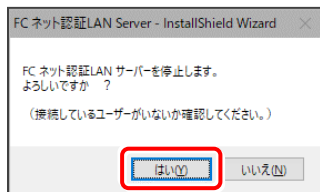
※ ライセンス情報の更新時には、インターネットに接続された環境が必要です。

Step1 | ネット認証LANサーバーの更新

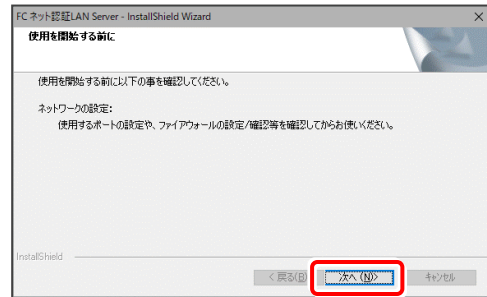
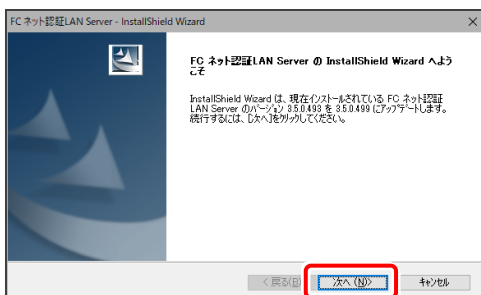
1. サーバーに「インストールDVD」をセットします。
2. セットアップ画面を [その他インストーラー] に切り替えて、[ネット認証ライセンスLANモードサーバー] を押します。



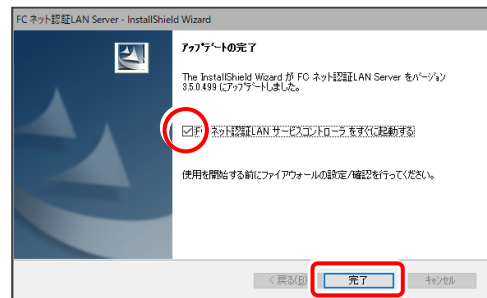
3. 表示される画面に従って、ネット認証LANサーバーを更新します。
[修復] と [削除] の選択画面が表示された場合は、[修復] を選択してください。



※ 表示される画面は、異なる場合があります。



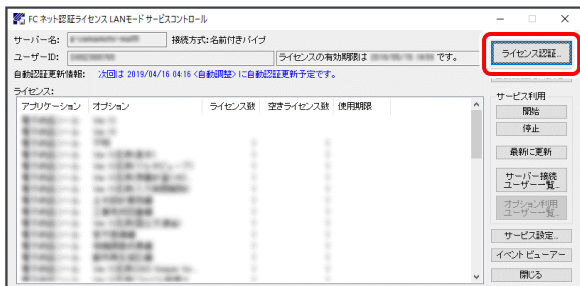
4. [FC ネット認証LAN サービスコントローラ をすぐに起動する] にチェックを付けて [完了] を押します。



(次ページへ進みます)

Step2 | ライセンス情報の更新（サーバー）

1. [FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントローラ] 画面で、[ライセンス認証] を押します。



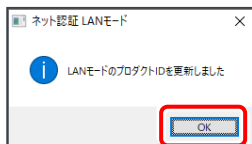
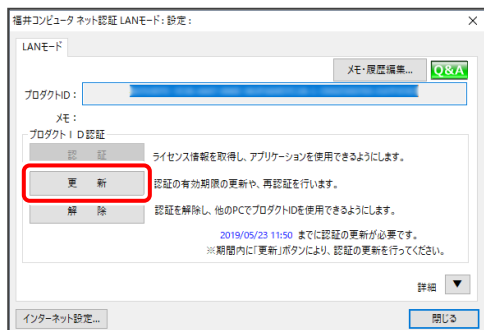
※ 上記画面が表示されていない場合は、

Windows11 : スタートメニューの「すべてのアプリ」

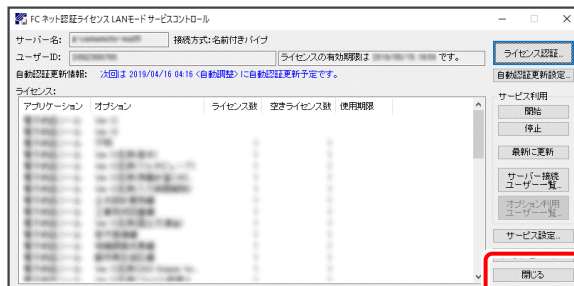
Windows10 : スタートメニュー

から、[FC ネット認証LAN Server] – [FC ネット認証LAN サービスコントローラ] を起動してください。

2. [更新] を押します。



3. ライセンス情報が更新されたことを確認し、[閉じる] を押します。



以上でネット認証ライセンス（LAN）の更新は完了です。

続けてクライアントで、各プログラムの更新をおこなってください。

【補足2】：セットアップ画面のボタンを押しても無反応の場合は

インストールする環境（セキュリティ環境など）によっては、セットアップ画面のボタンを押しても反応が何もない場合があります。その場合は下の図と表を参考に、インストールDVD内の実行ファイル（.exe）を直接実行して、プログラムをインストールしてください。

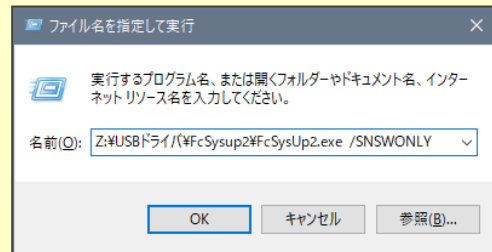
表内の赤字部分は引数です

下表の実行ファイルに赤字で書かれている文字は「引数」です。引数を含めて実行する場合は「ファイル名を指定して実行」で、ドライブ名も含めたパスを入力して実行します。

例) DVDドライブが「Z」の場合

Z:¥USBドライブ¥FcSysup2¥FcSysUp2.exe /SNSWONLY

※ 「ファイル名を指定して実行」は、キーボードの「Windows」キーを押しながら「R」キーを押して表示します。



No.	【製品インストール】タブ	実行ファイル（パス）
①	電子納品検査プログラム	GtFEnou¥EX-GLoader.exe
②	建設CAD	Musashi¥Setup.exe
③	写真管理	GtAlbum¥Setup.exe
④	各種ツール	ツール¥Packages¥LMenu.exe

製品インストール | その他インストーラー

5	USBプロテクトセットアップ	8	CIMPHONY Plus連携ツール	11	TS出来形検査ツール
6	ネット認証ライセンス	9	TREND-ONE⇒建設CADコンバーター	12	Antenna House PDF Driver 8.0
7	ネット認証ライセンスLANモードサーバー	10	建設CADサーバー	13	各種資料のインストール

© FUKUICOMPUTER ARCHITECT, Inc. All Rights Reserved. 終了

No.	[その他インストーラー] タブ	実行ファイル (パス)
5	USBプロテクトセットアップ	USBドライバ¥FcSysup2¥FcSysUp2.exe /SNSWONLY
6	ネット認証ライセンス	Net¥FcSysup2¥FCSysUpMain.exe
7	ネット認証ライセンス LANモード サーバー	Fcnets¥DLAS-LAN-SERVICE Setup.exe
8	CIMPHONY Plus連携ツール	GtAlbum¥CIMPHONY Plus¥setup.exe
9	TREND-ONE⇒建設CADコンバーター	BMLink¥setup.exe
10	建設CAD サーバー	Musashi¥Setup.exe SERVER
11	TS出来形検査ツール	ツール¥Packages¥TS出来形検査ツール¥TSINSPECT1004.exe
12	Antenna House PDF Driver 8.0	PDF¥AHPDFDriverSetup.exe /AHPD /SHOWUI
13	各種資料のインストール	ET武蔵¥土木各種資料¥setup.exe

Q & A

Q.1

ネット認証ライセンスの操作解説の資料はありますか？

A.1

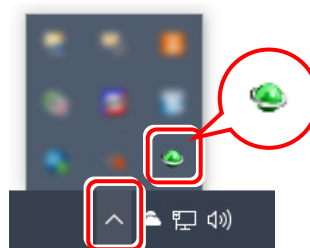
ネット認証ライセンスの Q&A をご覧になってください。

ネット認証ライセンスの設定画面からネット認証ライセンスの Q&A を開くことができます。

Q&A には、ネット認証ライセンスの機能やお問い合わせのあった内容について記載されています。

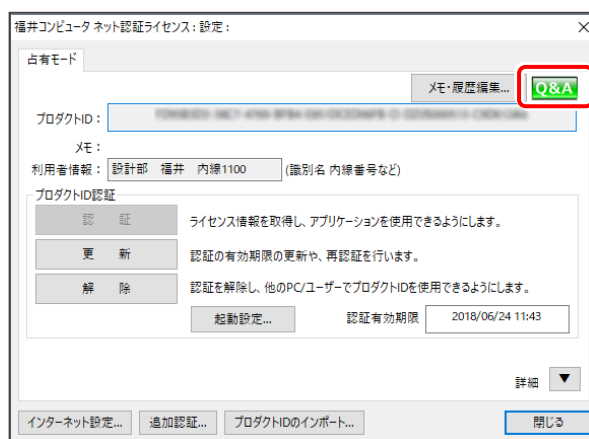
開き方

- 画面右下のタスクバーの通知領域に表示される「ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックして、ネット認証ライセンスの設定画面を開きます。

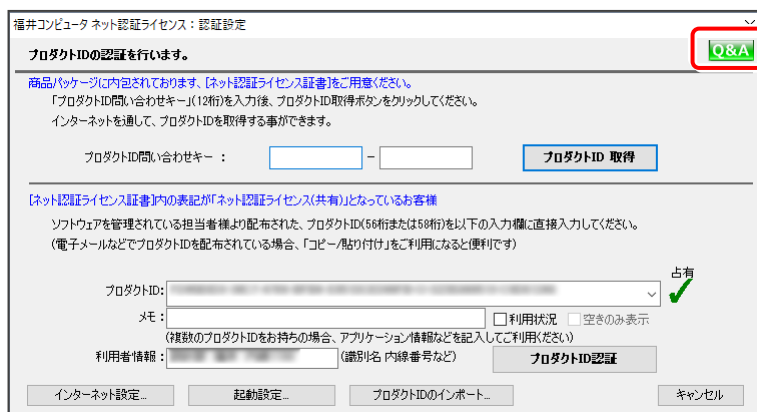


- ネット認証ライセンスの設定画面が表示されます。
[Q&A] ボタンを押します。

ネット認証ライセンスの Q&A が開きます。



または



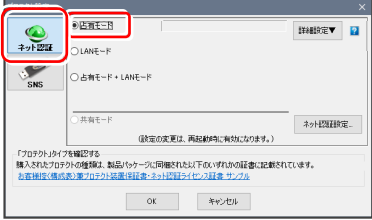
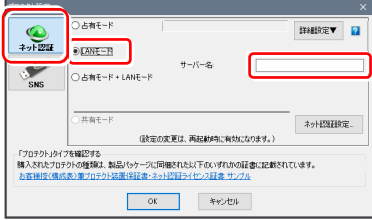
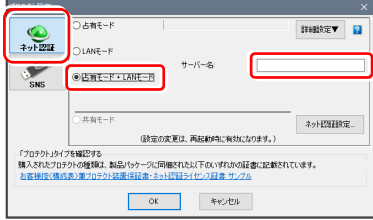
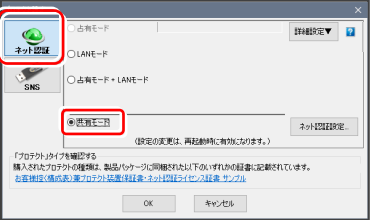
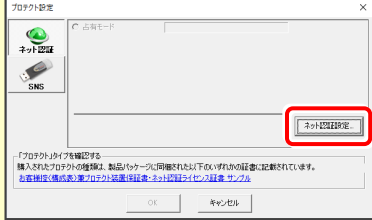
Q.2

プログラムの起動時に、「プロテクト設定」の画面が表示されて起動できません。

A.2

お使いのプロテクトを選択し、[OK] ボタンを押してください。

(プログラムによって、画面が異なる場合があります)

<p>【ネット認証ライセンス (占有)】を使用</p> <p>[ネット認証] - [占有モード] を選択</p> 	<p>【ネット認証ライセンス (LAN)】を使用</p> <p>[ネット認証] - [LANモード] を選択</p> 	<p>【ネット認証ライセンス (占有)】と【ネット認証ライセンス (LAN)】を併用</p> <p>[ネット認証] - [占有モード+LANモード] を選択</p> 
<p>【ネット認証ライセンス (共有)】を使用</p> <p>[ネット認証] - [共有モード] を選択</p> 	<p>【ネット認証ライセンス (LAN)】を使用する場合は、[サーバー名] に、「ネット認証ライセンスLANモードサーバー」をインストールしたライセンス管理用サーバーのコンピューター名を入力してください。</p> <p>モードが選択できない場合は、[ネット認証設定] ボタンを押して、ネット認証ライセンスの製品IDを認証してください。</p> 	

Q.3

ネット認証ライセンス（LAN）のライセンス管理について教えてください。

A.3

ライセンス管理用のサーバーにインストールされる、
「FCネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」で管理します。

「FCネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」は、「ネット認証ライセンス（LAN）」のライセンス情報の確認や、サービスの開始や停止をおこなうことができます。

— 起動方法 —

- Windows11 の場合：Windowsのスタートメニューの「すべてのアプリ」
 - Windows10 の場合：Windowsのスタートメニュー
- から、[FC ネット認証LAN Server] - [FCネット認証LAN サービスコントローラ] を実行してください。

The screenshot shows the main application window with several callout boxes explaining its features:

- [サーバー名]** サーバーのコンピューター名が表示されます。
- [ユーザーID]** ネット認証LANのユーザーIDが表示されます。
- [ライセンス数]** 同時使用が可能なライセンス数が表示されます。
- [空きライセンス数]** 現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。
- [サービス設定]** 接続設定やログファイルを設定します。
 - [接続] タブ** 接続プロトコルを設定します。
 - [動作ログ] タブ** 使用されたアプリケーションの動作状況を記録します。
 - [使用状況ログ] タブ** 使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。
- [ライセンス認証]** プロダクトIDの認証・更新などを行います。
- [自動更新設定]** 認証の自動更新処理について設定します。
- [開始]** サービスを開始します。ネット認証LANを使用する場合は、サービスを開始しておく必要があります。
- [停止]** サービスを停止します。
- [最新に更新]** 空きライセンスなどを最新の情報に更新します。
- [サーバー-接続ユーザー一覧]** ライセンスを使用しているユーザーを確認します。
- [オプション利用ユーザー一覧]** 選択したオプションを使用しているユーザーを確認します。
- [イベントビューアー]** Windows標準機能の「イベントビューアー」を開きます。ネット認証LANサーバーが動作しないときなど、サポートの応対時に使用します。

- [動作ログ] には、アプリケーションの動作状況が記録されます。使用するには、
 1. [ログの出力] チェックボックスをオンにし、[パス] にログファイルの出力先フォルダーを設定します。
 2. 「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」のサービスの開始時に、ログの取得が開始されます。
 3. サービスの停止時に、ログファイルが保存されます。ファイル名は、ネット認証LAN動作ログ_ (日時).log です。
- [使用状況ログ] には、「何時何分の」ライセンスの空き状況が記録されます。使用するには、
 1. [ログの出力] チェックボックスをオンにし、[パス] にログファイルの出力先フォルダーを設定します（[間隔] と [最大履歴数] は適宜に設定）。
 2. 「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
 3. 「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」を閉じると、ログファイルが保存されます。
 4. 再度「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル（ログファイル名+日付）で残され、新たなログの取得が開始されます。
- ネット認証の「占有」と「LAN」を併用した場合、「占有」のライセンスが優先して使用されます。